

北陸 経済研究

12

December
2025 no.538
ISSN 0386-8583

トップインタビュー
株式会社 エムアンドケイ 代表取締役
木下 孝治氏

自主調査
北陸発スタートアップ育成に向けて
～キーワードは実証・共創・企業内起業～

コンサルティング
通信
第6回 経営コンサルティング編②
組織の活性化と企業成長
～持続的成長を実現する“しなやかな組織”の条件～

企業紹介
株式会社 日本パーツセンター

北陸歴史探訪
第14回 越中桃井軍の侵攻と南北朝北加賀合戦

【井波彫刻】阿弥陀如来像
伝統の匠の技を駆使し、私たちに寄り添う
慈愛に満ちた仏の姿を彫り上げる。



伝統彫刻が暮らしを見守る

いなみちょうこく × ふじさき しゅういん なんとし
井波彫刻 × 藤崎 秀胤 [富山県南砺市]

江戸時代中期、富山県南砺市井波の瑞泉寺を修復するために派遣された京都本願寺の御用彫刻師・前川三四郎が、地元大工に技術を伝えたことが「井波彫刻」の始まりです。明治に入ると和室を装飾する彫刻欄間が高く評価され、1975年に国から伝統的工芸品の指定を受けます。藤崎さんは、高校卒業後に父である先代のもとで本格的に修行をはじめました。しかし、「お前の時代は欄間の仕事が少なくなる。自分の道を見つけよ」という父の言葉を受け、立体的な造形への強い関心から仏像彫刻師を志します。木の中に仏の姿を見出し、ノミだけで荒彫りから繊細な装飾まで仕上げる。その高い技と心が融合し、人の魂を揺さぶる仏像が生まれます。守るべき伝統を大切にしながらも、その枠にとらわれることなく、「これからもさらなる挑戦を続けたい」と藤崎さんは語ります。



●不動明王像
欄間と同じく板物として彫り出した像。
怒りを表す険しい表情は私たちの煩惱を断ち切ってくれる。



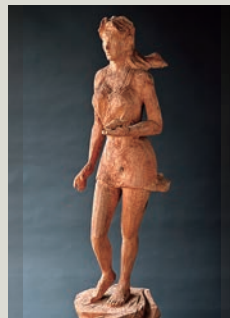
●普賢菩薩像
仏像彫刻師の手を借りて、人々の救済に奔走する菩薩が姿を現す。
見ているだけで心が安らぐ。



●雛人形
仏像彫刻師の手による雛人形には、どことなく慈しみが感じられる。



●羅漢像
木彫はノミだけで仕上げていく。なめらかな肌もペーパーで磨くことはない。



●女性像
空間把握の感覚と立体感覚を磨くため丸太から一気に彫り出すチェンソーアートに挑戦。



丁寧に、繊細に、心を込めて彫り上げるからこそ、魂が宿る。

藤崎彫刻店

富山県南砺市松島576
TEL 0763-82-0805



藤崎 秀胤 (本名：藤崎 秀平) 井波彫刻伝統工芸士

- 1959年 富山県井波町に生まれる
- 1978年 父 秀一氏に師事
- 1980年 父に師事する傍ら、斉藤侑琳氏に仏像彫刻の指導を受ける
- 1987年 富山県金徳院「金剛蔵王権現」「不動明王」「役の行者」制作
- 1994年 宮城県仙台市秀林寺「三世仏」制作
- 1995年 全国木彫刻コンクール井波にて「菅原道真像」優秀賞受賞
- 1996年 チェコ国際木彫刻シンポジウムに招待参加（「不動明王像」を公開制作）
埼玉県正永寺「釈迦如来像」制作
- 1997年 宮城県石巻東周院「釈迦本尊如来像」制作
- 2010年 井波彫刻伝統工芸士認定
- 2011年 日本チェンソーアート競技大会 in 東栄 クイックカービング3位
- 2014年 福島県小原寺「釈迦三尊像」制作
- 2015年 北海道瑞龍寺「普賢菩薩像」制作
- 2017年 愛知県勝楽寺本尊「釈迦如来像」制作